

科目名	内部障害理学療法学演習I	担当教員	森野 陽※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31E	②					

科目概要	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸リハビリテーションで実施される頻度の多い評価である、骨格筋機能、呼吸機、運動耐容能の評価、フィジカルアセスメントについてその方法を理解し、実践する。また症例情報から問題点を抽出する過程を学ぶ。 人工呼吸器の機能と役割を理解し、呼吸リハビリテーションとの関わりを知る。 治療手技の1つである呼吸介助・排痰法、気管内吸引を体験する。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸リハビリテーションにおける評価を理解でき、その結果を解釈できる。 人工呼吸器の機能と役割ならびに呼吸リハビリテーションとの関わりを知る。 呼吸リハビリテーションにおける治療手技を理解できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	オリエンテーション	呼吸リハビリテーションの全体像を理解し、評価、治療の位置づけを理解する。	森野
2	呼吸機能検査	呼吸機能検査	呼吸機能検査の方法、結果を理解できる。	森野
3	運動負荷試験1	様々な運動負荷試験	様々な運動負荷試験を知り、呼吸循環応答を理解する。	森野
4	運動負荷試験2	6分間歩行試験	6分間歩行試験の方法を理解し、実施できる。	森野
5	フィジカルアセスメント1	視診、触診など	フィジカルアセスメントの視診、触診について理解を深め、健常者において実践できる。	森野
6	フィジカルアセスメント2	フィジカルアセスメントに関する生理学的な解釈	内部障害における呼吸循環の応答に関する病態生理学を理解する。	森野
7	フィジカルアセスメント3	聴診	フィジカルアセスメントの聴診について理解を深める。	森野
8	排痰法1	用手的排痰法	体位排痰法やスクイーピングの適応を理解し、その手技を実施できる。	森野
9	排痰法2	スタンダードプレコーション	気管内吸引に必要なスタンダードプレコーションについて理解する。	森野
10	排痰法3	気管内吸引	気管内吸引の仕組みを理解できる。	森野
11	人工呼吸・酸素療法1	人工呼吸器	人工呼吸器の設定とその特性を理解することができる。	森野
12	人工呼吸・酸素療法2	酸素療法	在宅酸素療法の意義が理解できる。	森野
13	評価のまとめ1	症例情報から問題点の抽出する	評価結果から問題点を抽出できる。	森野
14	評価のまとめ2	<ul style="list-style-type: none"> 問題点の統合と解釈 症例情報、問題点、結果の解釈をまとめ、症例報告書を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの問題点の関連を理解し、評価結果の解釈ができる。 呼吸リハビリテーションにおける一般的な症例報告書を作成することができる。 	森野

15	治療プログラム	評価結果と治療プログラムの立案	模擬症例を通じて、問題点から治療プログラムを立案する流れを理解する。	森野
	評価方法	レポート課題 80%、平常点 20%		
	課題に対するフィードバック	1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
	教科図書	なし		
	参考図書	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 他・編 『呼吸リハビリテーションマニュアル運動療法 第2版』 照林社、2012年 高橋仁美 他・編 『動画で分かる呼吸リハビリテーション 第4版』 中山書店、2016年 石川朗、玉木彰・編 『15 レクチャーシリーズ /理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版』 中山書店、2017年		
	学習の準備	(予習) 参考図書にて予習をしておくこと。内部障害理学療法学の該当範囲を理解しておくこと (60分) (復習) 授業中に配布した資料を見直し、理解を深め、暗記すべきことを暗記すること (120分)		
	オフィスアワー	月・火・木・金曜日の 16時 30分から 18時		
	担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験	森野陽は、民間病院で呼吸器疾患における理学療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かして慢性期から急性期に至るまでより実践的な指導をすることができる。		